

2025年3月期決算 IR説明会資料

2025年5月
株式会社 極 洋

(東証プライム市場 証券コード 1301)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

1. 2025年3月期 総括	P3～6
2. 2026年3月期の連結業績予想	P7～10
3. 2025年3月期の実績	P11～18
4. セグメントの状況	P19～27
5. 株主還元	P28～29
ご参考資料	P30～38

1.2025年 3 月期 総括

2025年3月期 ハイライト

売上高
3,026億円

前期比 410億円増
(+15.7%)

営業利益
110億円

前期比 22億円増
(+25.8%)

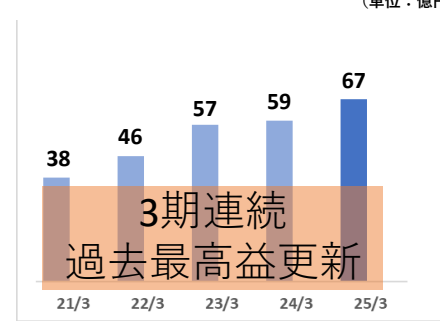
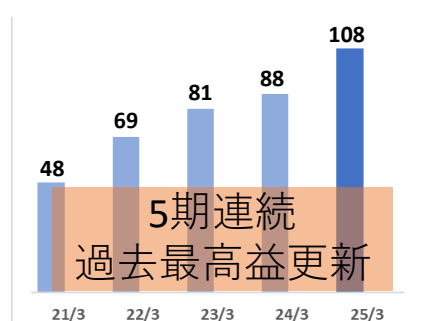
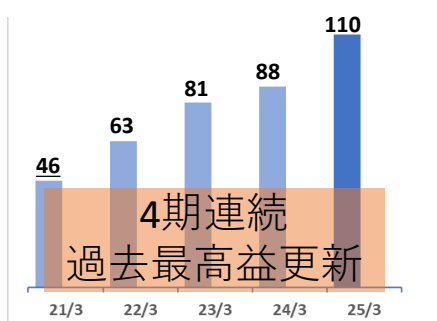
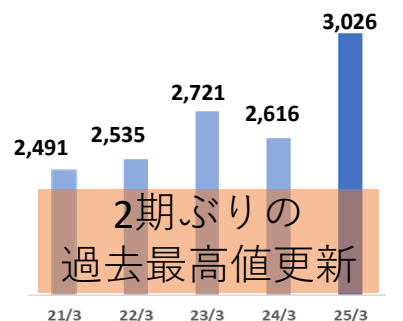
経常利益
108億円

前期比 20億円増
(+22.6%)

親会社株主に帰属する
当期純利益
67億円

前期比 8億円増
(+13.5%)

(単位：億円)



➤ ポイント

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに**過去最高値を更新**
- 売上高は初めて3,000億円台に。営業・経常利益は初の100億円突破
- 水産事業セグメントの国内販売、生鮮事業セグメント内の鯉鮪事業が増収増益を牽引

視座 グローバル化

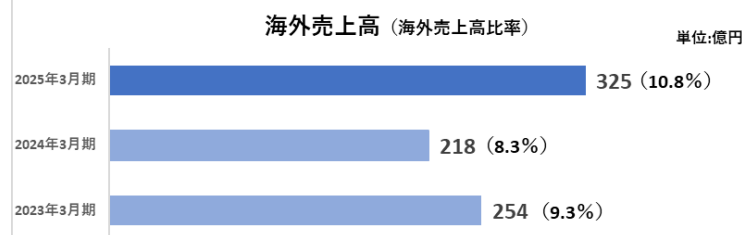
事業基盤の拡充

海外事業の拡大

中期経営計画目標

2027年3月期 海外売上高比率 15%以上（600億円）

25年3月期 通期実績 10.8%（325億円）
24年3月期 通期実績 8.3%（218億円）



➤ 海外生産拠点の整備

■水産加工品・冷凍食品を製造する オランダ企業「Northseafood Holland B.V.*」を買収【24年6月】

当社グループ初の欧州生産拠点。ヨーロッパでの食品事業の強化。

■ベトナムの冷凍食品・水産加工品工場「Kyokuyo Vina Foods Co.,Ltd.*」稼働

目的：生産拠点の多様化を図り、加工拠点のリスク分散

生産品目：切身・煮魚・焼魚、カニ加工品

■北米のカニカマ工場「Ocean's Kitchen Corporation*」稼働

目的：健康志向の高まりで消費拡大が見込まれる米国で、米国仕様品を生産



Kyokuyo Vina Foods

➤ 輸出事業の強化

■ホタテの加工・輸出専門「太平洋スキャロップ(株)*」設立【24年7月】

海外で人気が高まっている日本産ホタテについて、原料調達から、加工まで国内で完結させる体制を構築。24年11月に輸出開始。



Ocean's Kitchen Corporation

* 上記4社とも連結子会社

中期経営計画 重点戦略の進捗

視座

4つの事業

事業基盤の拡充

食品事業の拡大

- 市販冷凍食品を生産する「極洋食品(株)倉吉工場」稼働【25年3月】
需要拡大が見込まれる市販用冷凍食品の生産能力増強及び全国的な物流の効率性を向上。自社工場を中心とした生産販売体制の強化。



倉吉工場

事業基盤の拡充

高収益を確保できる付加価値性の高い商品づくり

- 2025年春の新商品発表【25年2月】
深刻化する人手不足問題に対応し、家庭でも調理の負担を低減させる商品の開発を強化。



ステークホルダーとのパートナーシップの強化

消費者との信頼関係構築

目的：企業ブランドの強化

- 社員が出演する新企業CMの放映開始【25年4月】
- WEB、テレビのエリア限定でCM放映【24年9月～25年3月】



新企業CM

視座

人財・組織

ステークホルダーとのパートナーシップの強化

従業員が働きやすい職場環境

- 組合員平均月額19,700円アップ、初任給は30万円に引き上げ【25年4月】
昨今の物価上昇への対応を含め、モチベーション向上と人材確保につなげる狙い。

2.2026年3月期の連結業績予想

連結業績予想と中計目標値

	2025年3月期 実績	2026年3月期 連結業績予想	中期経営計画 目標値 (2027年3月期)
売上高	3,026億円	3, 5 0 0 億円	4, 0 0 0 億円
営業利益	110億円	1 2 5 億円	1 3 5 億円
経常利益	108億円	1 2 5 億円	1 3 5 億円

設備投資計画

	概要	2026年3月期 計画
極 洋	生産工場関連 研究所関連 養殖事業海上 IT関連その他	5億円 0億円 1億円 6億円
	計	12億円
関係 会社	生産工場関連 まき網事業関連 養殖事業海上 IT関連その他	23億円 1億円 1億円 4億円
	計	29億円
合計		41億円

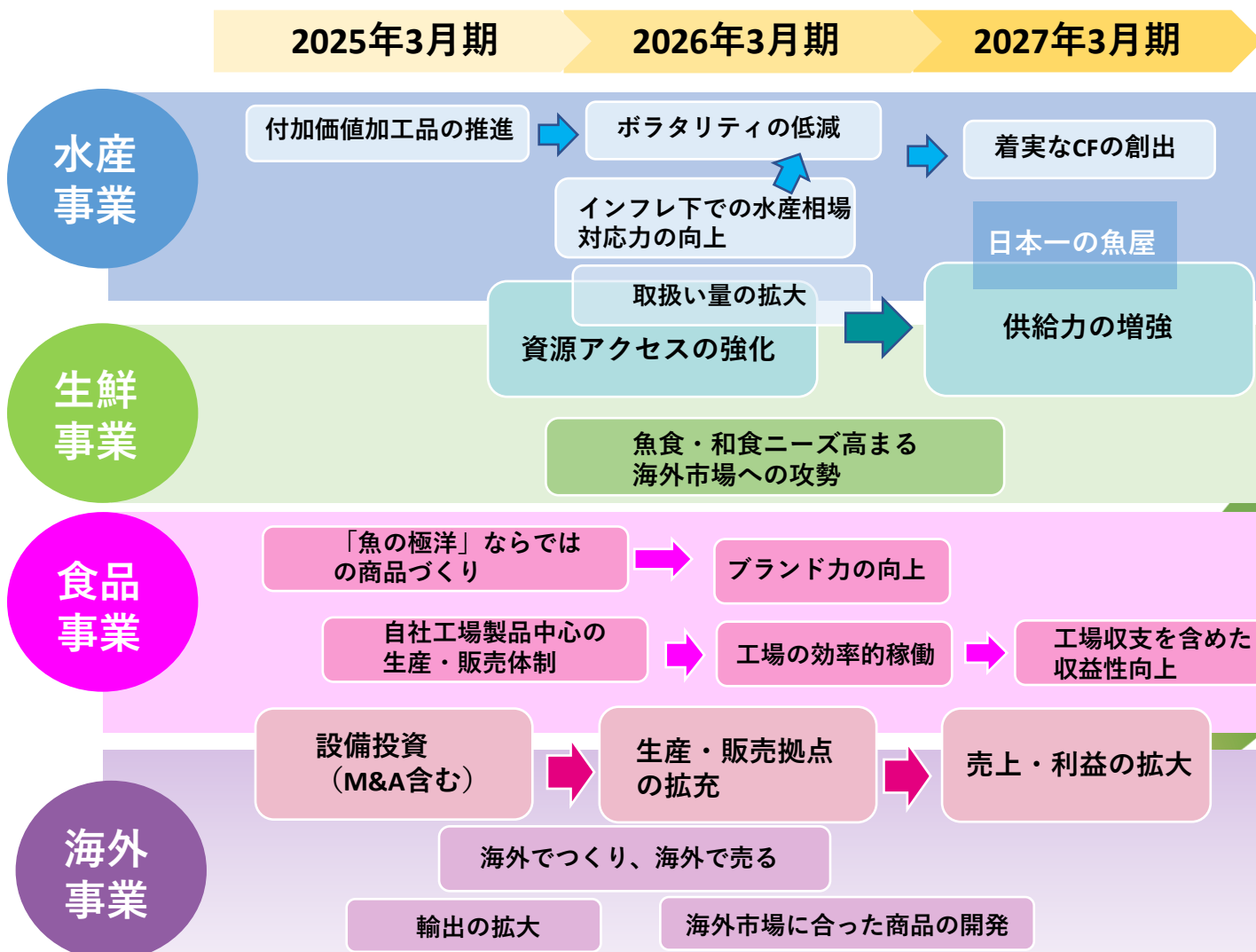
主な投資案件

DX推進
システム導入等 5億円

既存工場の設備導入・改修等

※海外M&A案件は含みません

中計目標値までのロードマップ



強い
キョクヨーへ



3. 2025年3月期の実績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期		前期比		2025年 3月期 通期予想	通期 予想比
				増減額	増減 比率		
売上高	261,604	302,681	過去最高	41,077	15.7%	300,000	100.9%
営業利益	8,806	11,079	過去最高	2,273	25.8%	10,000	110.8%
経常利益	8,856	10,857	過去最高	2,001	22.6%	10,000	108.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,936	6,740	過去最高	803	13.5%	7,000	96.3%

➤ 売上高、営業・経常利益は通期予想超え。

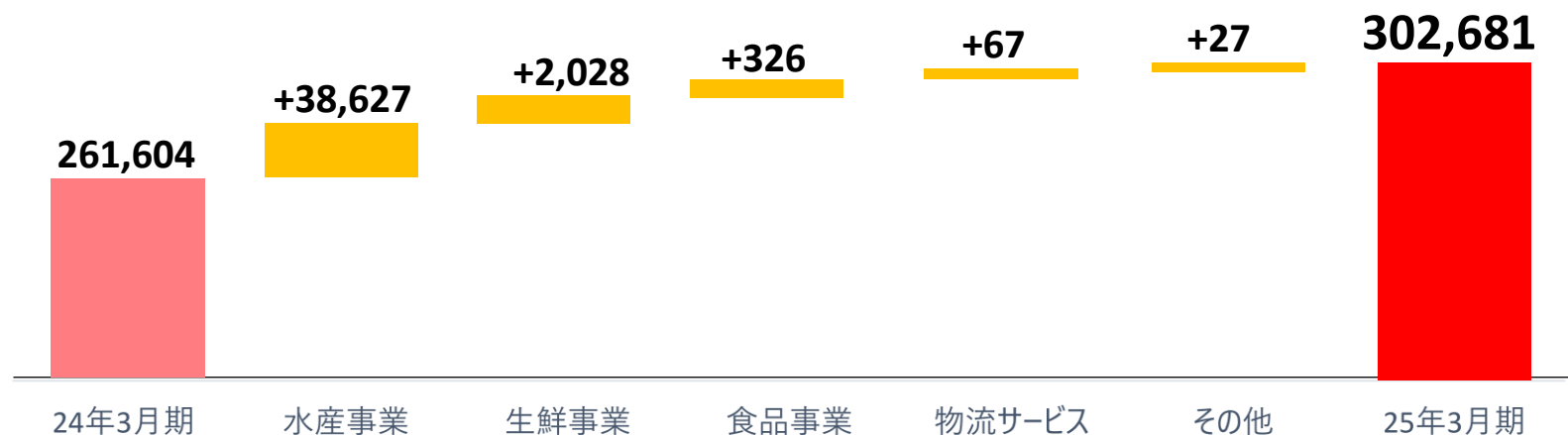
➤ 親会社株主に帰属する当期純利益は「訴訟関連損失※」が影響し、通期予想に至らず

※2024年10月25日に東証開示した「当社子会社に対する訴訟の判決に関するお知らせ」によるもの。第3四半期決算短信に織り込み済み。

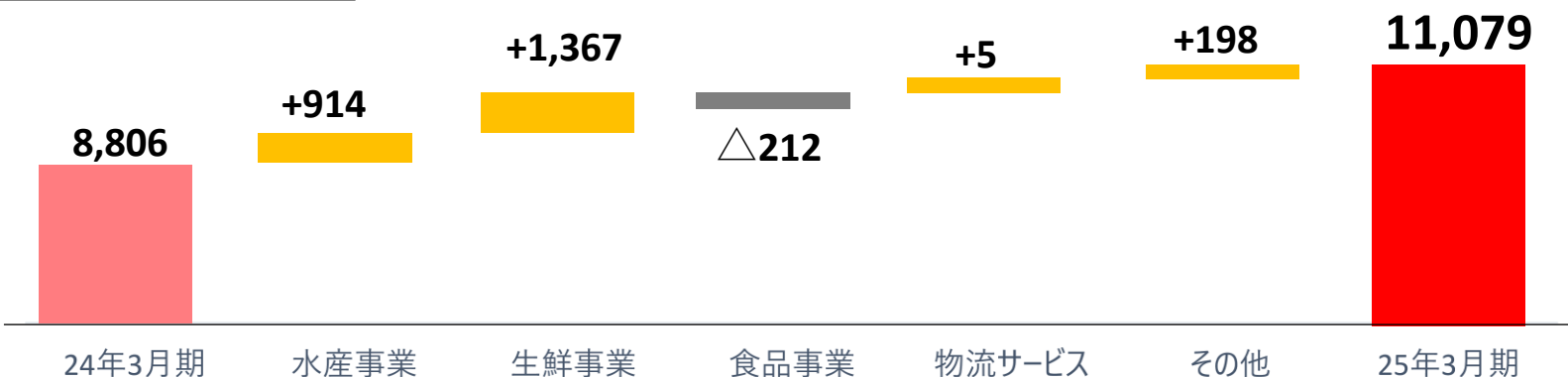
売上高・営業利益のセグメント別増減分析

売上高

単位：百万円



営業利益



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年 3月末	2025年 3月末	前期比		2024年 3月末	2025年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	124,297	134,260	9,963	流動負債	70,659	74,995	4,335
受取手形 及び売掛金	34,677	36,935	2,257	内、支払手形 および買掛金	8,417	10,004	1,587
				内、短期借入金 (含むCP)	45,340	43,770	△1,569
商品及び製品	59,308	62,312	3,004	固定負債	31,200	38,774	7,574
仕掛品	4,521	5,189	668	内、長期借入金	28,975	35,604	6,628
原材料及び貯蔵品	6,507	7,855	1,347	負債合計	101,859	113,769	11,910
その他	19,282	21,967	2,685	純資産の部			
固定資産	36,422	47,865	11,442	株主資本	52,354	57,902	5,548
有形固定資産	21,670	28,588	6,918	その他の 包括利益累計額	6,622	8,613	1,990
無形固定資産	887	1,965	1,077	非支配株主持分	△115	1,840	1,956
投資その他の資産	13,864	17,310	3,446	純資産合計	58,860	68,355	9,495
資産合計	160,720	182,125	21,405	負債及び純資産合計	160,720	182,125	21,405

- ・水産相場の上昇で「商品及び製品」が増加
- ・M&A、工場竣工により「有形固定資産」が増加
- ・利益の大幅増で、「株主資本」が増加

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

		2024年3月期	2025年3月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	8,555	10,848	2,293
	減価償却費	2,427	2,624	197
	売上債権の増減 (△は増加)	△1,281	△527	754
	棚卸資産の増減 (△は増加)	△8,055	△2,710	5,344
	仕入債務の増減 (△は減少)	△498	101	599
	その他	△2,868	△4,494	△1,625
小計		△1,721	5,843	7,564
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△5,336	△6,158	△822
	その他	△371	△2,877	△2,506
	小計	△5,707	△9,036	△3,329
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金 (含むCP)の増減 (△は減少)	3,913	△4,890	△8,804
	長期借入れの増減 (△は減少)	1,373	8,372	6,998
	その他	3,236	△1,332	△4,569
	小計	8,524	2,149	△6,374

- ・ 純利益の増加などにより、営業CFは赤字から黒字に転換
- ・ 海外企業のM&Aに係る支出などにより、投資活動CFの「その他」が増加。

連結財務指標の推移

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	前期比
自己資本（百万円）	40,382	42,705	47,541	58,976	66,515	7,538
有利子負債（百万円）	51,174	58,121	68,973	74,625	80,746	6,121
総資産（百万円）	116,331	130,460	146,301	160,720	182,125	21,405
現金及び現金同等物の 期末残高（百万円）	7,097	6,539	7,042	8,452	7,514	△938
自己資本比率	34.7%	32.7%	32.5%	36.7%	36.5%	△0.2ポイント
D/Eレシオ	1.4倍	1.5倍	1.6倍	1.4倍	1.4倍	±0.0ポイント
ROE	10.5%	11.2%	12.8%	11.1%	10.7%	△0.4ポイント
ROA	4.3%	5.6%	5.9%	5.8%	6.3%	+0.5ポイント

ROE：「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本*」、 ROA：「経常利益÷総資産*」 *当期末と前期末の平均値

・ M&A、工場竣工で「総資産」が増加も、経常利益の大幅増でROAは上昇

設備投資実績

	概要	2025年3月期 3月末実績
	生産工場関連 研究所関連 養殖事業海上 IT関連その他	14億円 0億円 1億円 4億円
極 洋	計	18億円
関係 会社	生産工場関連 まき網事業関連 養殖事業海上 IT関連その他	60億円 1億円 0億円 1億円
	計	63億円
合計		81億円

主な投資案件

・鳥取県の市販用冷凍食品工場
「極洋食品(株)倉吉工場」 11億円

・北米のカニかま製造会社
「Ocean's Kitchen」 14億円

・ベトナムの食品製造会社
「Kyokuyo Vina Foods」 13億円

・M&Aのれん 16億円

その他、工場設備の改修等

減価償却費実績

(単位：百万円)

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (実績)	25年3月期 (実績)
減価償却費	2,264	2,427	2,624

4.セグメントの状況

セグメントの状況

セグメント別売上高・利益

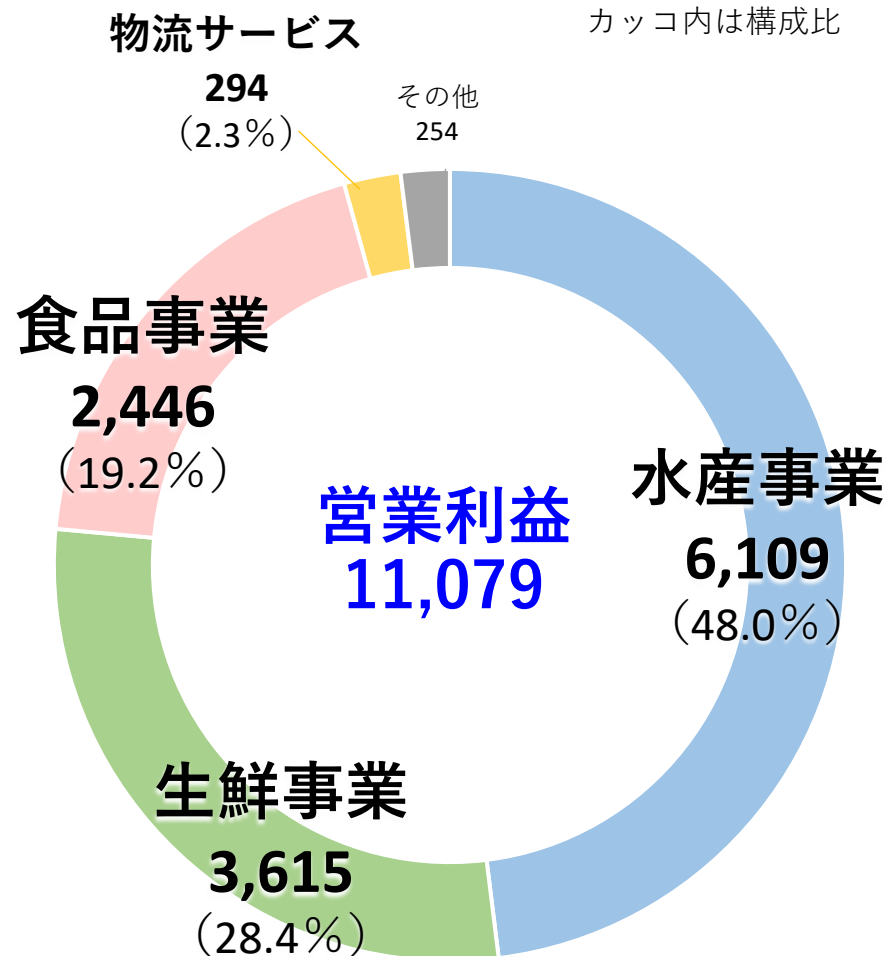
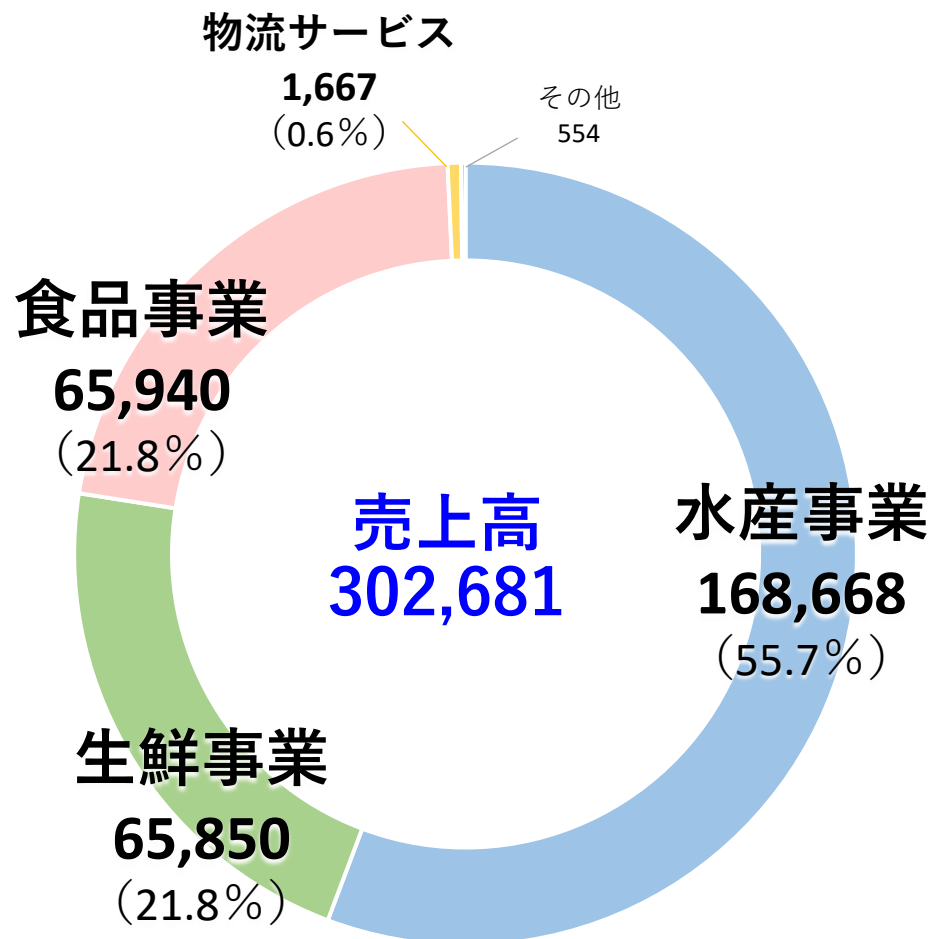
(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益			26年3月期 通期業績予想	
	24年3月期	25年3月期	前期比	24年3月期	25年3月期	前期比	売上高	セグメント 利益
水産	130,040	168,668	38,627	5,195	6,109	914	200,000	7,000
生鮮	63,821	65,850	2,028	2,248	3,615	1,367	73,700	3,700
食品	65,614	65,940	326	2,658	2,446	△212	74,000	3,300
物流 サービス	1,599	1,667	67	289	294	5	1,700	300
その他	527	554	27	△1,584	△1,386	198	600	△1,800
合 計	261,604	302,681	41,077	8,806	11,079	2,273	350,000	12,500

※管理区分を見直したことに伴い、前期実績についても、セグメント変更後に組み替えて記載しております

セグメントの状況

単位：百万円
カッコ内は構成比



※調整額 △1,641百万円を除く。
調整額を差し引く前のセグメント利益合計は12,720百万円。

水産事業

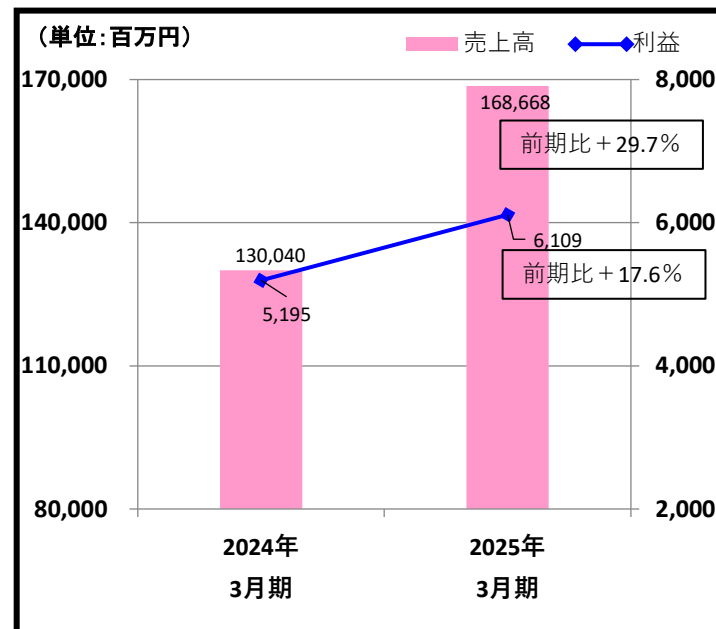
《増収増益》

(国内販売)

- 1月以降、サケ、カニの荷動き鈍化も、年末商戦までの好調が下支え
- 通期では主要魚種のサケマス・エビ、高額商材のカニ、魚卵、ホタテの販売が増加

(海外事業)

- 輸出は、青物が増加、マグロの販売が回復
- 海外現地販売は、連結子会社化した海外企業2社が売上増に貢献。欧米、中国とも販売環境が改善。
- アジアの日系外食チェーンへの販売伸長。



	売上高	利益
国内販売	↑	↑
海外事業	↑	↑

※「ご参考資料」に「魚種別売上金額・単価推移」を記載しております。
 ※セグメント別のビジネスフローは「別添1」をご参照ください。

セグメントの状況

➤ 生鮮事業

《増収増益》

(鯉鰯販売)

- 冷凍クロマグロを中心に外食・量販店向け販売が拡大

(海外まき網事業)

- 水揚げ量増加も、単価下落により売上・利益は減少

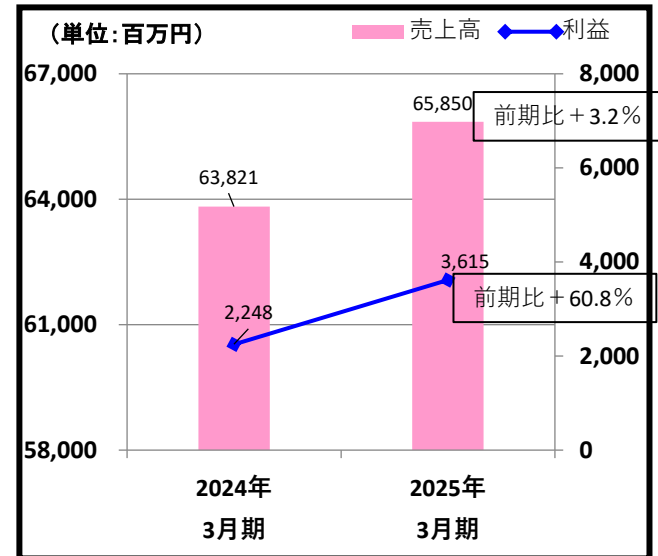
(養殖事業)

- 国産養殖クロマグロは取引先との取り組み強化により販売が拡大し、収益も改善。

(生食事業)

- 寿司種は高価格帯商材の相場急騰と価格改定が影響し販売減少も、利益は改善

※「ご参考資料」に「クロマグロ養殖事業 売上重量・金額」および「海外まき網事業 水揚げ重量・魚価」を記載しております。
※セグメント別のビジネスフローは「別添1」をご参照ください。



	売上高	利益
鯉鰯販売	➡	➡
生食事業 (寿司種中心)	➡	➡
海外まき網事業	➡	➡
養殖事業	➡	➡

セグメントの状況

➤ 食品事業

《増収減益》

(業務用冷凍食品)

- 安価な海外製品との競合激化で、水産フライなどの販売が減少するも、価格改定効果で利益は改善

(市販用冷凍食品)

- 販売は前期並みも、原材料高で収益減少

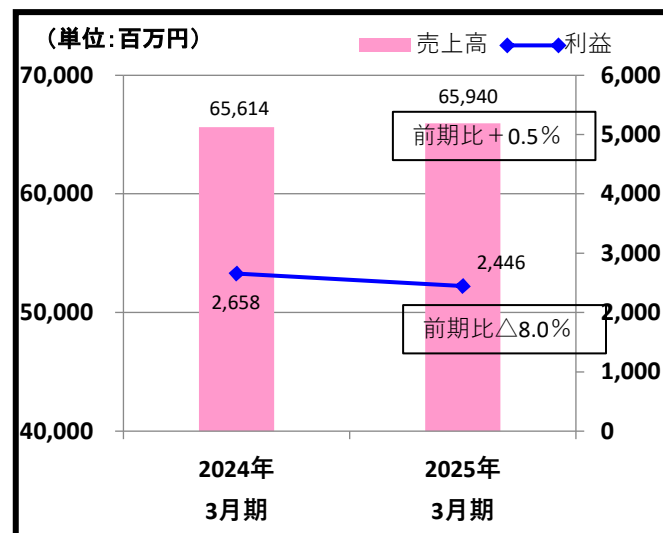
(缶詰)

- サバ缶が改善、ツナ缶・サンマ缶が伸長するも、資材高騰のコストアップが収益圧迫

(おつまみ・珍味)

- 価格改定の影響で販売減少、原料高が重なり利益減

※「ご参考資料」に「食品事業の売上高内訳」を記載しております。
 ※セグメント別のビジネスフローは「別添1」をご参照ください。



	売上高	利益
業務用冷凍食品	➡	➡
市販用冷凍食品	➡	➡
缶詰	➡	➡
おつまみ・珍味	➡	➡

➤ 物流サービス

《増収増益》

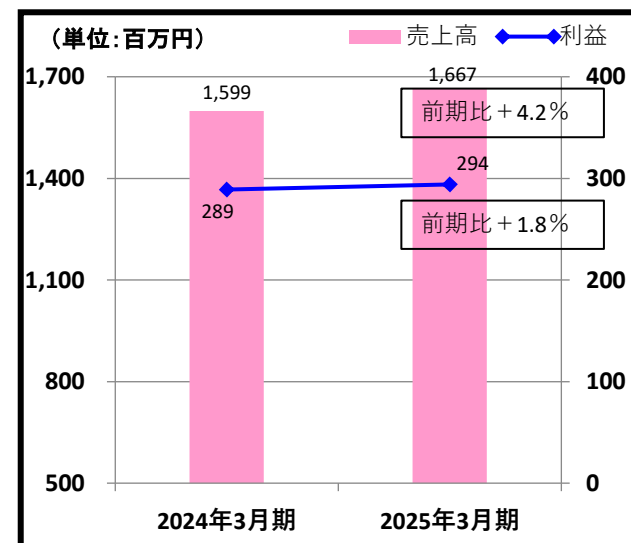
(冷蔵倉庫事業)

- 庫腹率の高水準継続で保管料収入が増加
- 価格改定効果で売上、利益とも拡大

(利用運送事業)

- 外部取引先への営業強化により売上が拡大

	売上高	利益
物流サービス	➡	➡



※セグメント別のビジネスフローは「別添1」をご参照ください。

事業環境予測

【水産事業】

- 取引先開拓などによる水産物取扱量の拡大 **日本一の魚屋**
- インフレ下での水産相場変動への対応力を向上
- 海外M&Aを進め、現地法人との連携強化で
海外売上高を拡大

デフレから
インフレへの転換

米国の急激な
政策転換
・不安定な為替
・貿易環境の急変

【生鮮事業】

- 自社工場製品の販売強化による収益性向上
- 店舗数が拡大する海外の日系外食向けの販売に注力
- 商品開発段階からの取引先との取り組み強化で、
加工品を拡販

世界的な和食
需要の高まり

【食品事業】

<冷凍食品>

- 自社工場商品を中心とする販売体制構築で、収益拡大
- (業務用)：市場ニーズを捉えた新規商材の投入、既存商品のブラッシュアップで商品競争力を強化し、販売量を底上げ
- (市販用)：新工場による能力増強及び強みのある水産素材の新商品の提案で販売量増加

事業環境予測

物価高による
節約志向

商品価値の
選別志向が
高まる

<常温食品>

- 新規カテゴリの開拓による販売拡大
- (缶詰)：主力魚種での新商品開発による売上拡大

【物流サービス】

- 倉庫保管・配送のセット営業強化で売上拡大
- 管理システムの導入による事業効率性向上

ドライバー不足

・待機時間削減
が求められる

5.株主還元

株主還元

利益配分に関する 基本方針

株主に対する適切な利益還元を経営の重要な課題のひとつと位置付けており、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。

優待品

■ 対象株主及び優待の内容

- (1) 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上3単元（300株）未満所有の株主様には、2,500円相当の当社製品を贈呈
- (2) 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された3単元（300株）以上所有の株主様には、6,000円相当の当社製品を贈呈

■ 贈呈時期 ： 毎年7月予定

配当の状況

	1株当たりの 配当金	DOE
2022年3月期	9 0 円	2.3%
2023年3月期	1 0 0 円 (普通配当90円) (記念配当10円)	2.4%
2024年3月期	1 0 0 円	2.2%
2025年3月期	1 3 0 円	2.5%
2026年3月期 予想	1 5 0 円	2.6%

中期経営計画

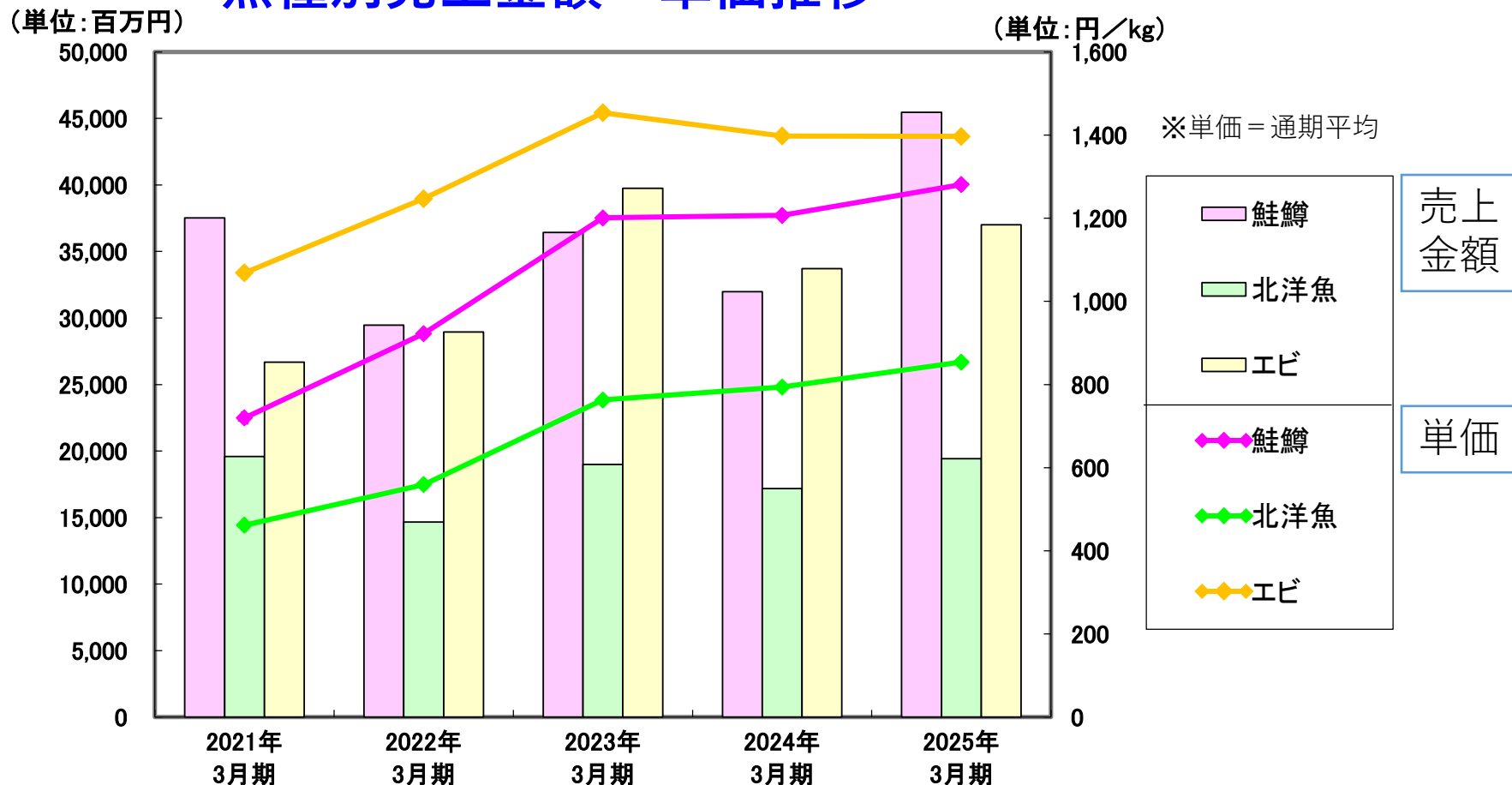
最終年度（2027年3月期）目標値

DOE 3.0%以上

ご参考資料

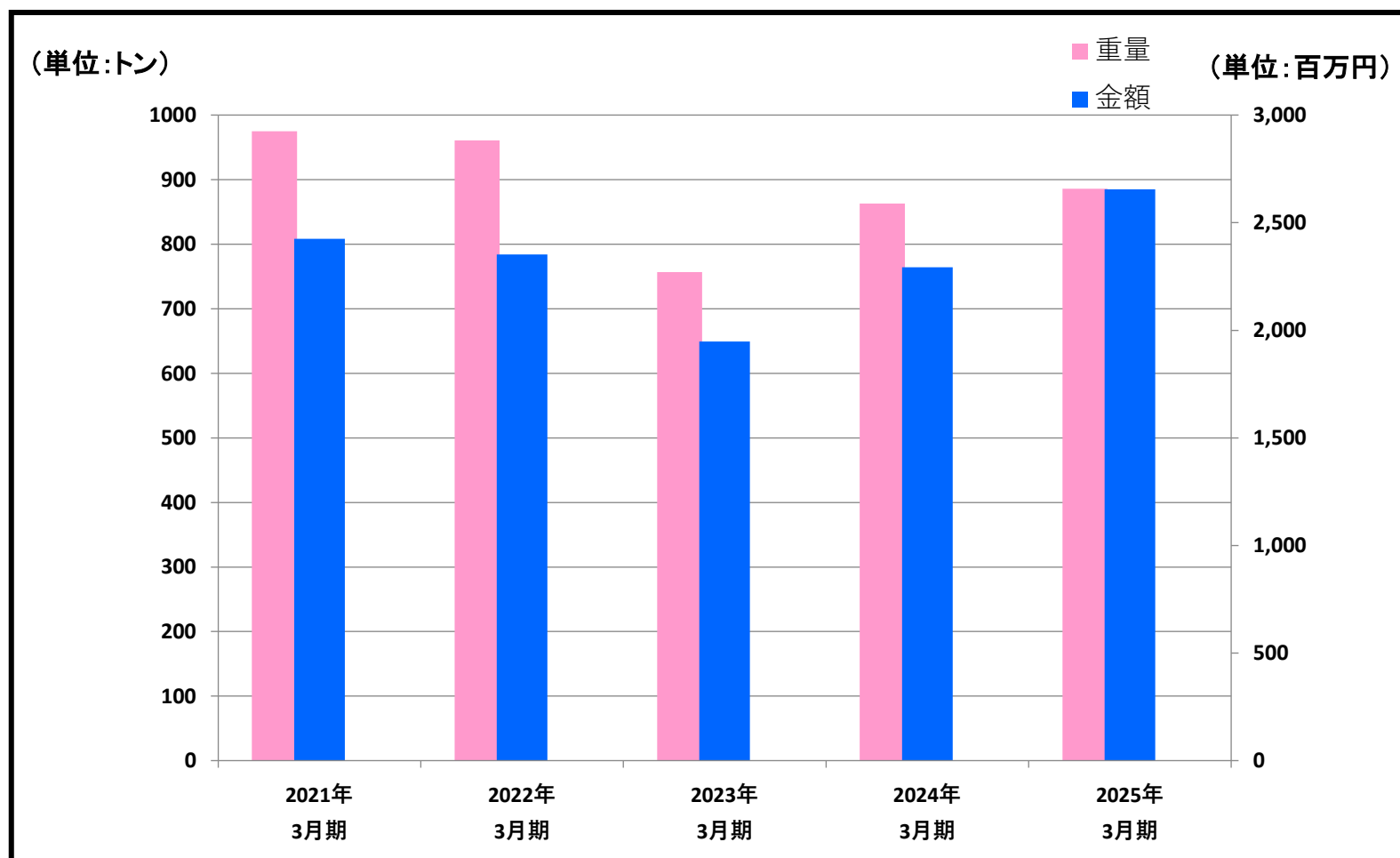
ご参考資料①

水産事業セグメント＜個別＞ 魚種別売上金額・単価推移

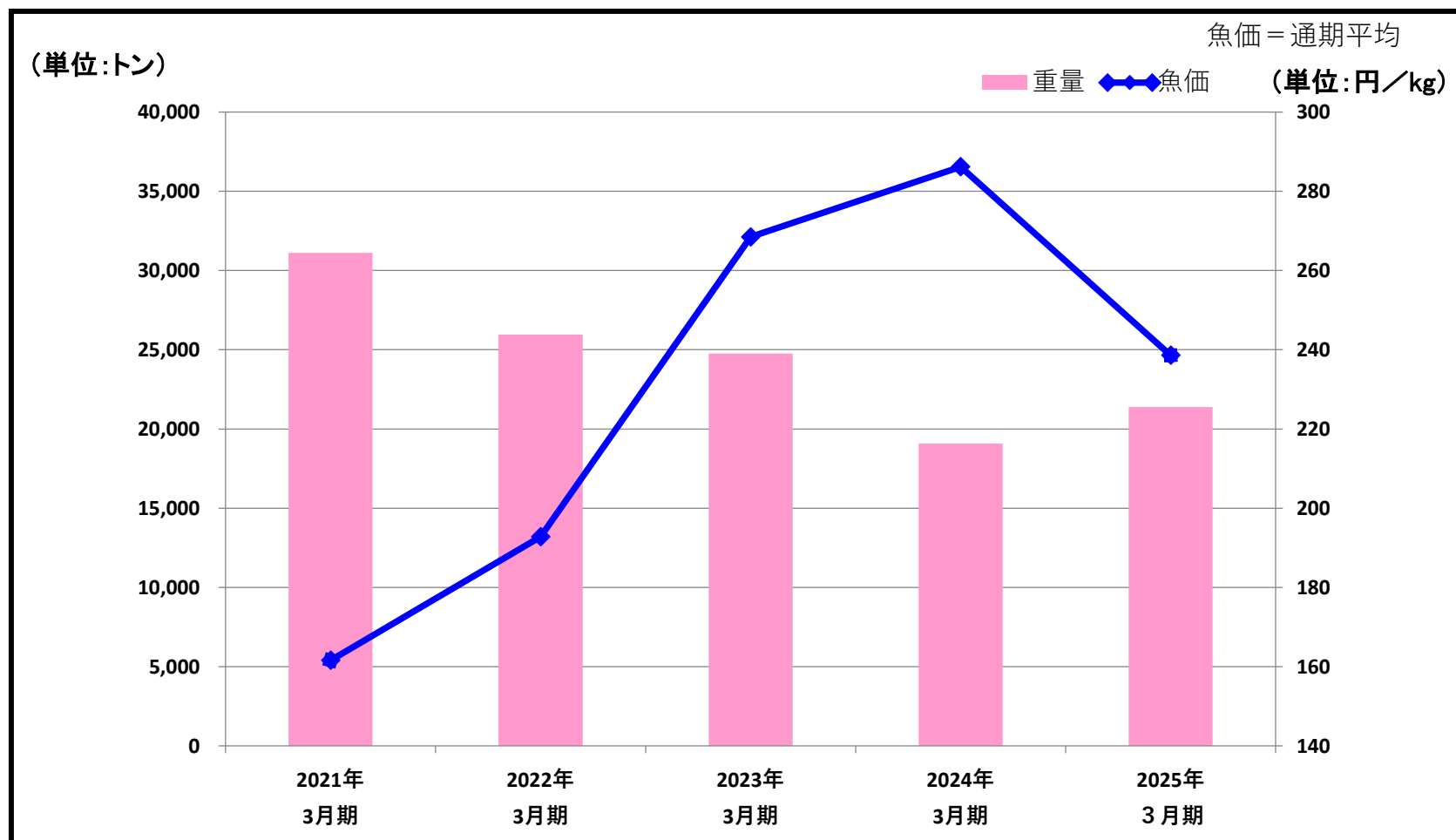


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しています。これにより、有償支給取引については、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

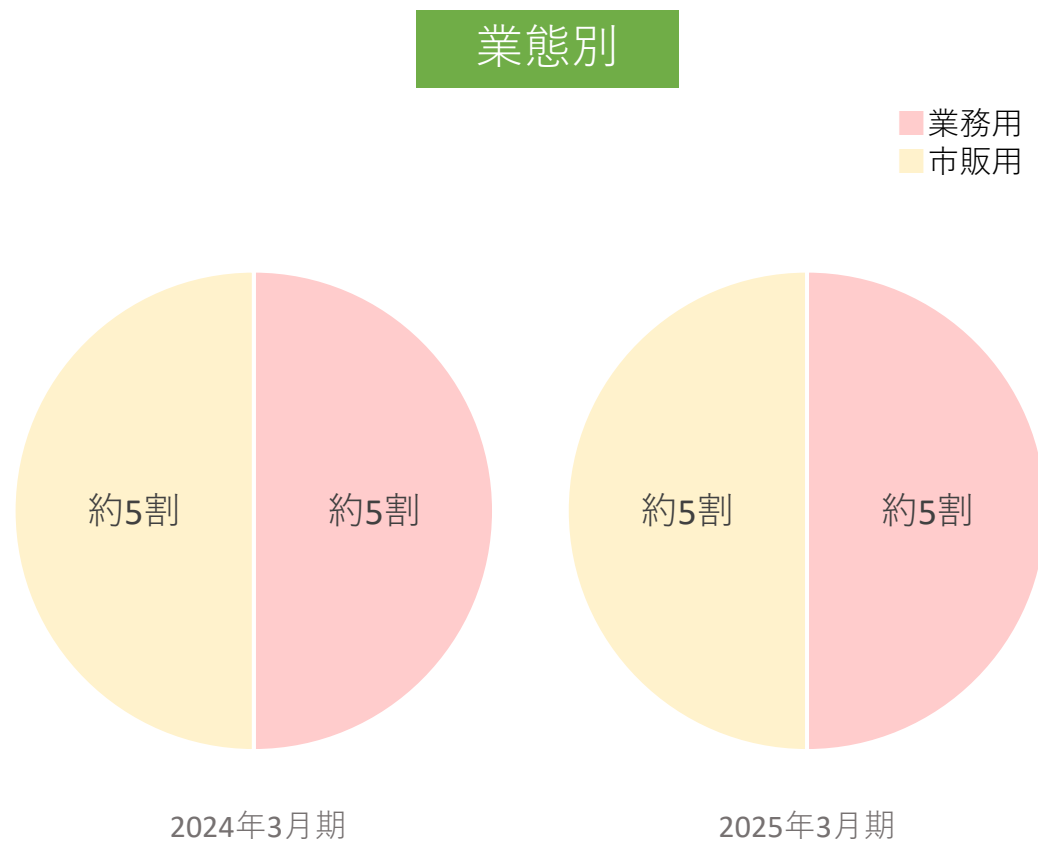
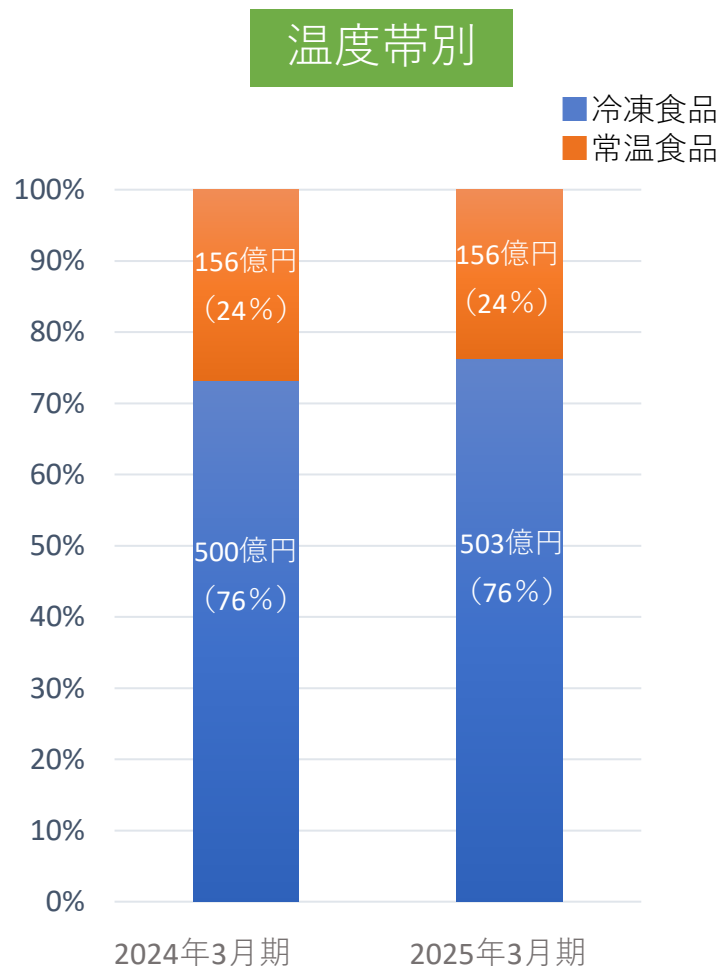
生鮮事業セグメント クロマグロ養殖事業 売上重量・金額



生鮮事業セグメント 海外まき網事業 水揚げ重量・魚価



食品事業の売上高 2025年3月期（65,940百万円） 内訳 2024年3月期（65,614百万円）



ESGトピックス

➤ 日本カヌー連盟への協賛

「自然との共生」および「水資源の大切さ」を社会に訴える環境保全活動の一環として日本代表選手や日本カヌー連盟の活動を応援、サポート。また、競技場へ来場された方々にご参加いただき競技コース付近の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施。2024年度参加者は270名。



➤ 水産大手3社合同海岸クリーンアップ2024【7月】

「海洋プラスチック汚染」の問題解決に向けた取り組みの加速・拡大・周知を目的に水産大手3社（㈱極洋、マルハニチロ㈱、ニッスイ㈱）合同で、千葉県の海岸沿いのごみを回収。各社の社員やその家族がボランティアとして参加。参加者数3社合計167名、回収したごみ104.6kg。



➤ キョクヨーグループ 統合報告書2024 発行【9月】

『Gear Up Kyokuyo 2027』の考え方を通して、企業価値向上のストーリーを体系的に理解いただけるよう制作。社会課題の解決に積極的に取り組む当社グループの姿を表現。



➤ 社員向け魚食量増加運動

国内では「魚離れ」と言われて久しい中、「極洋から魚食量増加の輪を広げていこう」との観点から「水産会社なら魚を食え！」運動をスタート。3月に第一弾として社員に魚のお弁当を無料配布し、魚食の意識向上を図った。



➤ 連結業績推移

単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	249,197	253,575	272,167	261,604	302,681
売上原価	223,620	225,558	241,139	228,213	263,861
売上総利益	25,576	28,016	31,027	33,390	38,819
販売費および 一般管理費	20,918	21,624	22,921	24,584	27,740
営業利益	4,657	6,392	8,105	8,806	11,079
経常利益	4,879	6,904	8,182	8,856	10,857
特別利益	1,676	50	353	1,994	1,493
特別損失	934	229	132	2,295	1,502
親会社株主に 帰属する当期 純利益	3,838	4,634	5,782	5,936	6,740

➤ 連結財務指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
純資産(百万円)	39,975	42,174	46,966	58,860	68,355
有利子負債 (百万円)	51,174	58,121	68,973	74,625	80,746
在庫回転日数	46.7日	55.5日	65.5日	78.1日	73.3日
自己資本比率	34.7%	32.7%	32.5%	36.7%	36.5%
ROE	10.5%	11.2%	12.8%	11.1%	10.7%
ROA	4.3%	5.6%	5.9%	5.8%	6.3%
1株当たり 純資産	3,753.90円	3,969.73円	4,436.27円	4,965.39円	5,600.14円
1株当たり 当期純利益	356.95円	430.83円	539.10円	548.61円	567.48円

- ROE：「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本*」
- ROA：「経常利益÷総資産*」
- 在庫回転日数：「商製品在庫高*÷売上高×365」
- 自己資本比率：「自己資本÷総資産」

*当期末と前期末の平均値としている。

見通しに関する注意事項

本資料は、2025年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としております。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますのでご了承ください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 SR推進部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。

国内販売



原料

販売

販売先

- ・加工業者
- ・食品メーカー
- ・卸売り市場
- ・問屋
- ・スーパー
- ・外食企業

加工

- ・水産加工品
(自社工場・協力工場)



販売

販売先

- ・スーパー
- ・外食企業
- ・問屋
- ・産業給食
- ・中食ベンダー



海外事業

輸出

買付

(ホタテ、マグロ、サバ、イワシ等)



輸出

※三国間貿易含む

販売先 (海外)

- ・加工業者
- ・日系卸問屋
- ・外食企業



海外生産・販売

生産

- (自社工場、協力工場)
- ・寿司種
- ・煮魚
- ・焼魚
- ・フィーレ



販売

販売地域

- ・東南アジア
- ・米国
- ・欧州 等

販売先

- ・日系卸問屋
- ・スーパー
- ・外食企業
- ・加工業者

鰹鮪事業

カツオ

調達

(自社船で漁獲、買付)

原料販売

販売先

- ・卸売市場
- ・加工業者
- ・食品メーカー



マグロ

調達

(買付、自社養殖)

加工

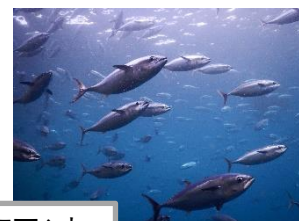
(自社工場、協力工場)

加工品販売

- ・ブロック
- ・ロイン
- ・柵
- ・寿司種
- ・タタキ

販売先

- ・回転寿司
- ・外食企業
- ・スーパー
- ・中食ベンダー



マダイ、
ブリ等



加工

販売先

- (自社工場、協力工場)
- ・寿司種
 - ・刺身商材

- ・回転寿司
- ・居酒屋／外食チェーン
- ・スーパー
- ・中食ベンダー

生食事業



冷凍食品

生産

- (自社工場、協力工場)
- ・煮魚
 - ・焼魚
 - ・カニ風味かまぼこ
 - ・水産フライ
 - ・エビフリッター

販売

業務用

販売先

- ・スーパー（惣菜売場）
- ・居酒屋
- ・レストラン
- ・産業給食
- ・中食ベンダー
- ・間屋



販売

市販用

販売先

- ・スーパー
- ・コンビニ
- ・食品／食材宅配企業
- ・ドラッグストア



缶詰

委託生産

(協力工場)

販売先

- ・スーパー
- ・コンビニ
- ・ドラッグストア



ドライ
水産珍味

(さきいか、あたりめ 等)

生産

(自社工場)

販売先

- ・スーパー
- ・コンビニ
- ・ドラッグストア



